

あべの
コミュニティシネマ
vol.35

戦後70年 特別上映企画

壮大なスケールで綴る

第一部 純愛篇



第二部 激怒篇



第三部 望郷篇



第四部 戰雲篇



第五部 死の脱出



第六部 曠野の彷徨



忘れてはならない名作映画 特集上映会

人間の條件

特別上映会

第一部・第二部
2015年

7月24日(金)

第三部・第四部
2015年

7月31日(金)

第五部・第六部
2015年

8月7日(金)

阿倍野区民センター 小ホール

主催 財団法人大阪市コミュニティ協会阿倍野区支部協議会 (06-4398-9877)
(株)大阪映画センター (06-6719-2233)

反戦のメッセージを壮大なスケールで綴った不朽の名作！

人間の條件

特別上映会

ヴェネチア国際映画祭 サン・ジョルジュ銀賞、パシネット賞（国際映画記者賞）
国内・毎日映画コンクール、ブルーリボン賞など多数受賞の長篇話題作！

原作は、自ら満州戦線に従軍した五味川順平（1916-1995）の半自伝的名作で、1300万部を記録した空前のベストセラー。松竹大船の銳才・小林正樹監督（「黒い河」「切腹」）のライフワークといわれる渾身のヒューマニズム感動巨編である。

戦時下の非人道性への憤り、そして永遠の夫婦愛を謳いあげた叙事詩！

第一部 純愛篇
昭和18年、戦火の緊張みなぎる満州。
南満洲鉄鋼会社に勤める梶は、妻・美千子とともに北満の老虎嶺鉱山に赴任する。召集免除が梶への條件だった。だがそこには過酷な労働と、賃金の搾取に喘ぐ現地・工人の姿があった。
労務管理を担当する梶は、効率的量産のために労働条件の改善を主張するが現場監督と衝突。
そんな折、緊急増産のため、捕虜600人が送り込まれた。彼らは、特殊工人として酷使される。

第二部 激怒篇
鉱山の所長は、特殊工人に重労働を課すとともに慰安婦をあてがった。
二割増産目標が達成されたある日、特殊工人の脱走事件が発覚。慰安婦の金東福が梶の部下、陳を誘惑して決行させたのだった。
特殊工人の待遇改善に努力していた梶は、脱走をやめるよう説得する。だが続いて作業現場からの脱走未遂がでっち上げられ、それが梶の人生を大きく変える。

人間の尊厳を踏みにじる軍隊生活！抗し難い虐待に苦悶する初年兵の怒り！

第三部 望郷篇
工人逃亡の責任を押し付けられた梶は、憲兵隊の拷問から釈放後、臨時召集された。
北満の極寒の中、連日の厳しい訓練の後、兵舎では古参兵のしごきが続く。暴力に、梶は軍隊の錯誤を知らされる。
そんなある日、美千子が遙か30キロの道程を訪ねてきた。
そして部隊がソ満国境の前線に移動する直前、仲間の初年兵が自殺してしまう。

戦局は日増しに切迫し、梶の部隊も国境近い陣地で待機。
思いがけず、少尉に昇進した友人の影山が赴任してきた。
影山は、梶を上等兵に上げ、初年兵の教育にあたらせるが、古兵の妬みを買いつけられる。
その対立を案じた影山は、梶たちを別の中隊に派遣。だが、ソ連軍は目前まで迫ってきていた…。

誰もが言葉を失うラストシーンの衝撃！反戦のメッセージを後世に残す

第五部 死の脱出
ソ連軍の猛攻撃を塹壕で迎え撃った部隊は、梶、弘中伍長、寺田二等兵を残して全滅。三人は地図も磁石もなく、ひたすら密林の中を彷徨する。
やがて、敗残兵と一緒に避難民に遭遇、彼らは翌日から梶の指揮に従った。
だが、強行軍と飢えに体力を奪われ次々と脱落した。行く先々で民兵に追われる敗残兵や、避難民の姿。
そんな中に梶は、暗い影のある少女と、その弟を見かける。

梶は敗残兵を率いて斥候中、ソ連軍の討伐隊から逃れる。だが、丹下は単独で投降していった。
その後、一隊は老人と女性だけの避難民の集落に着く。
翌日、一隊を解散して出発しようとした矢先、敗残兵はソ連の討伐隊を迎撃とうとする。
「やめて！ここで戦争は！」
突然の少女の叫びに呆然とする梶は、全員に投降を促した。

仲代達矢

新珠三千代 佐田啓二 淡島千景 山村聰 宮口精二 有馬稻子 川津祐介
田中邦衛 佐藤慶 岩崎加根子 内藤武敏 岸田今日子 中村玉緒 高峰秀子

7月24日(金)

- ①第一部 11:00~12:45
- ②第二部 13:45~15:21
- ③第一部 17:00~18:45
- ④第二部 19:00~20:36

7月31日(金)

- ①第三部 11:00~12:42
- ②第四部 13:45~15:00
- ③第三部 17:00~18:42
- ④第四部 19:00~20:15

8月7日(金)

- ①第五部 11:00~12:30
- ②第六部 13:30~15:10
- ③第五部 17:00~18:30
- ④第六部 18:45~20:25

阿倍野区民センター 小ホール

〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
● 地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口反対側すぐ
● 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分



料
金

1作品

2作品目以降

6作品鑑賞券

800円

500円

3,000円

今回は会員価格はございません。ご了承ください。

●お問い合わせ●
大阪映画センター
TEL 06-6719-2233